

平成29年度社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会事業計画

1. 活動方針

加速する少子高齢化や就労環境、家庭環境の変化等により、生活困窮者の増加や日常生活への影響等、様々な課題が浮き彫りになり、その解決のためには既存の制度・体制だけでなく、地域住民を巻き込んだ取り組みが求められています。

国においては、このような社会状況を踏まえ、地域包括ケアシステムの構築や生活困窮者支援制度等の改革が進められており日常生活圏域での地域力による福祉活動への新たな展開が求められています。

一方、社会福祉法人制度改革においては、これまで以上に法人経営に対してガバナンスや財務規律の強化、事業運営の透明性の向上等を図ることとされているほか、新たに地域における公益的な事業への取り組みも社会福祉法人の責務とされ、社会福祉協議会としての他の団体では困難な福祉ニーズへの対応も求められています。

地域においては、東日本大震災から6年が経過し、産業基盤やインフラの整備とともに、災害公営住宅への入居も進み、日常生活を取り戻しつつあるとはいえ、被害者のみならず地域で生活するすべての人々へのきめ細かな支援が必要とされ、仮設住宅での生活を余儀なくされている被災者を含めて訪問支援を継続しつつ、地域の支え合い活動の充実により、地域住民として安心して生活を送れるよう、新たな支援への移行が求められています。

本会としては、地域福祉を推進する中核的な役割を担う民間福祉団体として「誰もがその人らしく暮らすことができる地域社会の実現」のため、地域福祉活動計画の着実な実施と医療、福祉、地域等の多様な組織による地域包括ケア推進協議会でのアクションプランの実施に取り組みながら、住民参加による見守り、助け合い活動、コミュニティ構築のため、気仙沼市や関係機関、団体と連携・協働し、事業を推進するとともに、介護保険事業や障害者支援事業の安定的な運営に取り組んでまいります。

2. 重点目標

1 地域福祉の推進

東日本大震災による応急仮設住宅の集約も徐々に進み、仮設住宅を退去する被災者は、新たなコミュニティ構築が必要となることから、引き続き被災者支援に取り組むとともに、本会の地域福祉活動計画に基づき、地区社協、民生委員・児童委員、ボランティア、地域住民等と連携・協働して、地域の生活課題解決のため、小地域福祉ネットワークを基盤とした見守り・支援体制の強化を図り、新たなコミュニティ構築への支援に取り組みます。

また、生活支援体制整備事業の本格的な実施に伴い、気仙沼市をはじめ、関係機関及び地域住民との連携を一層強固なものとし、日常生活圏域における多様な生活支援サービスの提供を推進してまいります。

2 介護・福祉活動の拠点の整備・活用

地域福祉の推進は、その活動拠点の整備が重要であります。震災により本会の活動拠点の多くが民間施設の借用となっていますが、事務所の狭隘や駐車場の不足を余儀なくされていることから、昨年気仙沼市から無償譲受した旧日本吉老人福祉センターを活動拠点の一つとして、その整備を図ります。

また、指定管理施設の受託運営については、利用者ニーズを把握し、効率的、効果的な運営と良質なサービス提供のため、各種事業収入を確保するとともに、自主財源を活用しながら、事業の安定と将来を見据えた活動拠点の整備・活用を図ります。

3 人材確保・育成

現下の厳しい経済環境、雇用情勢の中で、有資格者をはじめ事業推進に必要な人材の確保が一層困難な状況が続いております。このことから、ハローワークのほか、あらゆる手法・手段により積極的に求人募集を行い、潜在的な有資格者の掘り起こしと安定的な人材確保に努めます。

また、職員の更なる資質向上のため、職員研修の充実と待遇改善を行い、離職防止を図り、新たな雇用による人材確保、育成、定着を目指します。

4 組織管理体制の強化

介護保険事業や障害者支援事業は、利用契約に基づく良質なサービスの提供や採算性の確保など、法人としての経営責任や経営判断が一層強く求められる中、それらを担う組織体制の構築が急務となっていることから、有資格者の確保と職員交流による組織体制の強化を図ります。

また、地域住民からの理解と信頼を得るために、法令遵守の下、自己研さんに努め、福祉ニーズに的確に対応した施策や活動に積極的に取り組み、常に課題意識を持ち、自ら考え行動できる職員の育成を行います。

5 福祉サービス提供における「安心・安全」の確保

誰もが住み慣れた地域でより安心・安全な暮らしが送れるよう、地域福祉活動計画に沿い、支援を必要とする人を地域で支え合う小地域福祉ネットワーク事業を推進します。

また、本会施設・事業所において安心・安全に利用できるよう防災体制の整備とともに、車輌や施設等のハード面の充実と感染症予防や衛生管理等のソフト面の整備・強化を図りながら、サービス提供における「安心・安全」の確保に努めます。

6 各地域における福祉サービスの強化

地域特性を生かし、制度によるサービスだけでは解決できない福祉課題への対応のため、内部の連携はもとより、地区社協はじめ関係機関・団体と連携し、地域福祉の推進に取り組みます。

(1) 本所（法人全体）

- ① 事業の評価及び再点検を行い、地域福祉活動計画との整合性を図りながら、新たな事業への取り組みに繋げます。
- ② 介護保険サービスや障害福祉サービスの充実に努めるとともに、利用者へ各種情報の提供を行いながら、住み慣れた地域で介護、医療、各種福祉サービスが受けられるよう地域包括ケアの推進に取り組みます。

③ 震災を教訓として、災害ボランティアセンターの体制整備を図るため、地区社協、ボランティア団体等と連携した研修や訓練を実施し、地域ボランティアの養成を行います。また、災害時における福祉避難所の設置・運営に関する協定に基づく、福祉避難所の設置・運営のための蓄えの確保に努めます。

(2) 唐桑支所

- ① 地域の様々な福祉課題・生活課題の解決に向けて、地区社協と一体となって取り組む小地域福祉ネットワーク活動を基盤とした、地域福祉活動への積極的な支援と実践に取り組みます。また、地区社協が行っている福祉まつり等のイベントに対し、積極的な支援を行いながら、福祉コミュニティづくりを推進します。
- ② 介護保険サービスの充実・強化に努めるとともに、人材や情報等の資源を生かし、地域包括ケアの推進に取り組みます。
- ③ 震災を教訓として、本所と連携し、災害ボランティアセンターの体制整備を図るため、地区社協、ボランティア団体等と連携した研修や訓練を実施し、地域ボランティアの養成を行います。

(3) 本吉支所

- ① 地域の様々な福祉課題・生活課題の解決に向けて、隣組から振興会・地域振興会単位のミニ社協、地区社協、本吉地域全体での重層的な支え合いの仕組みづくりを行い、小地域福祉ネットワーク活動を基盤とした地域福祉活動への積極的な支援と実践に取り組みます。
- ② 日常の活動を通して住民の生活課題の継続的な把握に努め、課題解決に向けた様々な活動との連携や新たなサービスの創設など、常に住民の生活に密着した活動を展開します。
- ③ 本吉地域福祉まつりをはじめとする住民交流やボランティアセンター事業、福祉教育に積極的に取り組み、みんなで支え合い、学び合う中で福祉意識の醸成と地域活動実践者となる地域人材の育成を図り、福祉コミュニティづくりを推進します。

1. 法人運営事業

執行機関としての理事会や議決機関としての評議員会、業務執行及び財産状況を監査する監査会を実施し、それぞれの役割や責任を明確化し、本会の経営・運営の充実強化を図ります。

事業名	内容
理事会の開催	地域福祉の担い手としてふさわしい事業を住民とともに進めていくため、理事会、評議員会を中心として事業の推進を図ります。 定例理事会 3回 定例評議員会 2回 理事 13名以上 16名以内、評議員 28名以上 33名以内 当初予算額 735,000 円
監査会の開催	理事の業務執行や事業の健全経営や透明性を図るため、監事による監査を行います。 定例監査会 2回 監事 3名以内 当初予算額 155,000 円
苦情解決責任者及び第三者委員の設置	本会が提供する福祉サービスに対する苦情に適切に対応し、利用者の満足感を高め、利用者個々の権利を擁護し、利用者の苦情に円滑・円満に解決します。 また、研修会への参加など、資質の向上を図ります。 当初予算額 15,000 円
評議員選任・解任委員会の適時開催	評議員に欠員等が生じ、各地区や団体からの推薦書が提出された際に、速やかに評議員選任・解任委員会を開催し体制の整備を図ります。

2. 地域福祉事業

地域福祉活動計画に基づき、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すとともに、地域福祉活動の充実に努めます。

事業名	内容
地域福祉活動計画の推進	<ul style="list-style-type: none">・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進委員会を開催し、委員会において活動計画で掲げた取組みの進捗状況の点検・評価・見直し等を行います。・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進連絡会議を年間2回開催し、各地区社協の代表委員において、活動計画で掲げた具体的な取組みの実施状況の点検・評価、事業推進に向けた連絡・調整等を行います。・地区社協ごとに住民懇談会を開催し、地域課題を共有しながら、地域ならではの具体的な福祉活動ができるよう話し合いを行うとともに、その活動の実現に向けて、職員が地域に出向き支援を行います。 <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 440,000 円</p>

地区社協活動への支援	<p>地区社協会長会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の推進を図るため、地区社協会長会議を年2回以上開催し、情報共有と意見交換を行ないます。今年度は防災集団移転や災害公営住宅への入居がほぼ終了したことから、新しい地域における住民参加による福祉コミュニティの具体的取組みについて、先行事例の紹介などを行いながら、相互支援の広がりを図ります。 <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 297,000円</p> <p>地区社協活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、地域活動推進者的人材育成を目的とした研修等を段階的に開催します。 <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 384,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協が実施する地域・在宅福祉に関わる自主的な事業へ活動費を助成し、地域福祉活動の促進を図ります。 <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 2,236,000円</p>
ふれあい相談センターの運営	<p>ふれあい相談センターの運営</p> <p>住民の信頼に応えられる社協を目指し、法人内による情報共有会議の開催や、宮城県サポートセンター支援事務所の協力によって、弁護士による法律相談を実施し、専門職と連携しながら重層的な支援ができる体制を形成し、住民の相談に対応できるように調整を図っていきます。</p> <p>【気仙沼地区】</p> <p>月曜日から金曜日（木曜日を除く）午前9時から午後3時まで開設し、住民がいつでも相談に来られる体制を維持し、研修の機会を設定しながら相談員の資質向上に努めています。</p> <p>【本吉地区】</p> <p>多様化する生活課題に対応するため、6名の民生委員の協力を得て、毎週月曜日午前9時30分から午前11時30分まで相談窓口としての生活相談を実施します。また、月曜日以外については支所職員にて相談対応を実施します。</p> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 2,103,000円</p>
小地域福祉活動の推進	<p>誰もが地域の中で安心して生活ができるよう住民同士が協力し、見守り、助け合い、支え合う、小地域福祉活動の推進に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小地域福祉活動推進会議を開催し、この活動の具体的・実践的推進に向け検討を行います。また、小地域ネットワーク活動の進め方を具体的に示した住民向けのパンフレットを作成し、理解促進と組織づくりに努めます。 ・地区社協内への小地域福祉活動連絡会議設置に向け、協議を進めます。 ・小地域福祉活動の円滑な運営を図るため、地区社協へ補助金を交付し、活動の推進を図ります。 ・支えあいのモデル地区を1地区指定し、住民相互の手づくり福祉活動を展開

	<p>することにより地域での支えあいの強化に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉推進フォーラムを地区社協単位で開催し、地域で抱える課題解決に向け住民や関係者がそれぞれの役割を考える機会とします。なお、翌年度以降は地区社協等地域単位で開催できるよう支援に努めます。 <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 412,000 円 福祉育成援助活動事業の内（モデル地区指定及び地区社協への活動費助成関係）1,760,000 円 歳末助けあい募金配分事業の内（パンフレット作成）400,000 円</p>
地域包括ケアシステムの構築推進	気仙沼市地域包括ケア推進協議会で策定したアクションプランに基づき、構成団体と連携・協力し、地域包括ケアシステム構築に積極的に取り組みます。
広報紙の発行	<p>年 6 回「社協だより」を発行し（偶数月・全戸配布）、地域活動の紹介や福祉サービス等の情報提供を行うことにより、住民参加による安心して暮らせるまちづくりの推進を目指します。また、本吉地域においては年 6 回奇数月に「本吉支所だより」を発行し、本吉地域の全戸に配布します。</p> <p>当初予算額 福祉育成援助活動事業の内 2,220,000 円</p>
社会福祉大会の開催	<p>地域社会の生活課題の解決に向けて、地域住民・社会福祉関係者・行政が力を合わせ、地域福祉の推進に一丸となって取り組むことの重要性を再確認とともに、毎年に亘り社会福祉の発展にご尽力をいただいた方々を表彰し、感謝の意を表すために開催します。</p> <p>当初予算額 社会福祉大会表彰関連事業 500,000 円 ボランティア活動育成事業の内 1,477,000 円</p>
職員交流の実施	目黒区社協との『災害時における相互応援に関する協定』に基づき、災害時における円滑な応援体制の確立を図るため、平常時においても相互交流を深め、災害時に備えた地域福祉活動の推進に寄与できるよう職員交流を行います。
	当初予算額 ボランティア活動育成事業の内 150,000 円
本吉地域福祉まつり	<p>『みんなでいろんな輪をつくろう』を開催テーマに市民が楽しく主体的に集うことにより福祉を身近に感じるとともに、住み慣れた地域で安心して生活できるよう一人ひとりの自発的な行動と共助について考え、理解を深める場として開催します。開催月：7月</p> <p>当初予算額 福祉育成援助事業の内 315,000 円</p>
地域福祉懇談会の開催（本吉地域）	<p>日々の地域福祉活動と併せて地域における福祉懇談会を定期的に開催し、住民の声を聞く姿勢を強化し、生活課題の把握及び地域福祉活動に必要な情報提供を行い、地域で支え合う福祉力を高めていきます。</p> <p>本吉地域内 3 地区社協または 15 のミニ社協（地域振興会）単位で開催。</p> <p>当初予算額 福祉育成援助事業の内 10,000 円</p>
地域福祉活動推進体制の整備（本吉地域）	地域の様々な生活課題の解決に向けて、隣組から振興会、地域振興会単位のミニ社協、地区社協、本吉地域全体での重層的な支え合いの仕組みづくりを進めます。小地域福祉活動の推進に向け、地域福祉懇談会などでの地域福祉活動状

	<p>況の把握を行うとともに、振興会や地区社協等への情報提供等の活動支援に取り組みます。</p> <p>当初予算額 福祉育成援助事業の内 43,000 円</p>
本吉地域ひまわり会 交流事業	<p>一人暮らし高齢者へ交流機会の提供と仲間づくりを目的にボランティア団体及び本吉響高等学校の協力を得て、地域内の各公民館施設等を活用しながら年4回実施します。また、より多くの参加が得られるよう内容を工夫し、会場を持ち回りとするなどさらなる工夫により実施します。</p> <p>実施月：7月、12月、1月、3月</p> <p>当初予算額 278,000 円</p>
子育て支援交流事業	<p>市内で活動する団体の把握及び連携を図りながら、当事者を中心に地域で子育てをする環境づくりを推進します。</p> <p>当初予算額 児童青少年福祉活動事業の内 300,000 円</p>
高齢者交流会	<p>高齢者の一人暮らし世帯及び高齢者のみの世帯を対象に、簡単に安全に調理できるメニューや調理方法が学べる研修会を開催します。調理後は会食をしながら交流をすすめ、生活の質の向上と仲間づくりを目指します。</p> <p>当初予算額 老人福祉事業の内 50,000 円</p>
善意銀行の運営	<p>市民からの多様な善意の預託を受け、地域生活支援及び住民参加による地域福祉の推進に資するよう効果的な活用に努めます。</p>
屋内ゲートボール場 の運営	<p>市民の福祉向上と健康の増進及びスポーツの振興のために、適切な施設の維持管理に努め、利用促進を図ります。</p> <p>当初予算額 880,000 円</p>

3. ボランティアセンターの運営

地域にとって新たな支え合いの担い手となるボランティア等へのより一層の支援や育成により、地域福祉活動の活性化を図ります。

ボランティアセンターの充実とボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアの相談・ニーズの受付・調整・派遣等、ボランティア育成・啓発を推進するとともに、相互理解と互助によるボランティア活動の機運の醸成に努めます。 ・地域における様々なニーズを解決するために各種研修会を開催し、地域福祉やボランティアに携わる人材のすそ野を広げ、地域力の向上を目指します。 ・地元ボランティア団体の交流会開催により、福祉のまちづくりを共に担う仲間として、相互理解と協力体制づくりを進めます。 ・ボランティア意識の啓発を図り、人とのつながりの中で共に豊かに暮らすことのできる地域づくりに理解を深めができるよう、様々な福祉体験やボランティア活動の機会を提供します。 ・市のボランティア団体の連合組織に対し、ボランティア団体活動費補助金を交付し、活動の支援を行います。
---------------------------	--

	<p>・大規模災害に備えて各種研修会等を開催し、防災の意識の向上を図ると共に人材の育成に努めます。</p> <p>当初予算額 ボランティア活動育成事業の内 1,863,000 円</p>
ボランティアセンターの充実とボランティア活動の推進 (本吉地域)	<p>ボランティアセンター機能の強化を図り、ボランティアを必要とする方とボランティアを始めたい方をつなぐ調整の役割として、ボランティア活動関連情報を支所だより等の活用により提供を行うほか、調査やボランティアの交流、施設・団体・地域との連携、ボランティア懇談会開催などを行います。</p> <p>当初予算額 ボランティア活動育成事業の内 72,000 円</p>

4. 福祉教育

市内小中学校を対象に、体験や交流活動を通じて福祉のこころを育むことを目的に福祉・ボランティア活動を推進し、児童生徒の福祉教育・学習機会を提供します。

事業名	内 容
福祉教育の推進	<p>福祉教育活動費補助金交付事業</p> <p>学校教育における福祉活動への活動費の補助により継続した福祉教育、ボランティア学習を支援します。</p> <p>当初予算額 ボランティア活動育成事業の内 321,000 円</p> <p>福祉教育、企業、団体への職員派遣事業</p> <p>機会を捉えて市社協職員を派遣し、福祉への理解を深めることや地域活動に対する意識の啓発を行い、地域における福祉人材の育成や福祉への理解者の拡大等を図ります。</p> <p>敬老作文コンクール事業</p> <p>市内の小学生を対象に敬老作文コンクールを実施することにより、児童の高齢者に対する理解を深め、敬老の心を培います。</p> <p>当初予算額 児童青少年福祉活動事業の内 384,000 円</p>
福祉教育の推進 (本吉地域分)	地域人材の育成活動として、地域活動実践者育成の学習会や研修会を開催します。また、公民館や地域の振興会と連携した福祉学習の開催、福祉学習プログラムの提供を行い、地域で学び合うなかで福祉意識の醸成と支え合う地域社会づくりに取り組みます。併せて、小・中学校、高校への多様な福祉教育学習プログラムの提供を行うとともに、疑似体験や認知症に関する学習、ボランティア活動体験等の支援を積極的に行うことで、思いやりの気持ちをはぐくみ、みんなで支え合うことの大切さなど福祉意識が醸成されるよう取り組みます。

5. 資金貸付等事業

支援が必要となった世帯に資金の貸付や必要な相談に応じることにより、生活の安定や生活意欲の助長が図られるよう事業を推進します。

事業名	内 容
生活福祉資金貸付事業	低所得世帯等の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、担当民生委員や関係機関と連携の強化を図り、必要な相談支援を進めます。また、資金の貸付だけで終わることがないよう借受世帯の生活実態を把握し、自立相談支援事業所等、各関係機関と連携しながら世帯の自立に向けた支援に取り組みます。 当初予算額 5,795,000 円
生活安定資金貸付事業	低所得世帯に対し、緊急に必要な生活資金の小口の資金を貸付けすることで、生活の安定が図られるよう担当民生委員と連携し、自立支援に努めます。また、担当民生委員との情報共有を図り、生活課題の早期発見と早期支援に取り組みます。 当初予算額 251,000 円

(震災対応事業)

生活復興支援資金貸付事業	被災した低所得世帯の生活の復興を支援するため、必要な資金の貸付と生活課題の相談支援に取り組みます。また、早期に生活の再建が図られるよう関係機関と連携しながら、総合的な生活支援に向けた働きかけを行います。
特例緊急小口資金貸付事業	震災発生時に貸付を行った資金の債権管理と借受世帯の生活再建状況に応じて宮城県社会福祉協議会と連携しながら償還への働きかけを行います。

6. 援護活動

火災被害に遭った世帯に対し、その生活の安定に早期に資するよう支援します。

事業名	内 容
援護活動事業	気仙沼市内で発生した火災による被災世帯に対し、その生活の安定に資するよう迅速な見舞金等の贈呈に努めます。 当初予算額 福祉育成援助活動の内 31,000 円

7. 生活支援・障害福祉事業

(1) 在宅障がい者福祉事業

生活支援員による認知症の高齢者、知的・精神障がい者の福祉サービスに取り組むとともに、視覚障がい者の外出支援や情報提供に努めます。

事業名	内 容
日常生活自立支援事業 気仙沼・南三陸地域 福祉サポートセンター（呼称：まもりー	何らかの理由で判断能力が十分でない方の日常的な金銭・書類管理や見守りなどの活動を通して、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、住民の権利擁護に努め、関係機関とのネットワークを活用した支援体制の構築や事業所に対する本事業の共通理解促進、専門員と生活支援員の雇用や、人材育成及び担当課内によるサポート体制の確立、生活支援員への研修の場の設定、事業実施主

ぶ気仙沼・南三陸)	体である宮城県社協間との事業内容の整合性を図りながら、事業の実施に努めます。 当初予算額 10,453,000 円
障害者福祉の推進	<p>障害者福祉活動事業（視覚障害者との交流）</p> <p>視覚障がい者の社会参加の促進と、ボランティアとの交流を通して相互理解を深めることを目的に実施します。</p> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 145,000 円</p> <p>録音サービス事業</p> <p>視覚障がい者等への情報提供の一環として、朗読奉仕グループの協力により「広報けせんぬま」や「社協だより」等を録音し、希望者に配布することにより、行政情報や地域福祉情報などの必要な情報発信に努めます。</p> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 17,000 円</p> <p>点訳サービス事業</p> <p>視覚障がい者への情報提供の一環として、ボランティアの協力を得ながら点訳サービスを行うことにより、確実な情報提供に努めます。</p> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 11,000 円</p>
ガイドヘルパー派遣事業	視覚障がい者の社会生活を支援するために、ガイドヘルパーの派遣を行います。また、ガイドヘルパーを確保するために広報誌を活用した啓発と併せ養成講座を行うほか、現任者に対するフォローアップ研修を実施します。
	当初予算額 障害児者福祉活動事業 480,000 円

(2) 指定障害福祉サービス事業

障害者総合支援法等関係法令を遵守し、また、気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市及び近隣市町村に居住する障害のある利用者及び保護者の意思、人格を尊重し、本人の立場に立ち、心身の特性を踏まえた適切なサービスを提供するとともに、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう適切な支援に当たります。また、職員研修を通して、職員の資質の向上と法令遵守の徹底による適正な事業運営を推進します。

事業所名	内 容
気仙沼市松峰園 (多機能型事業所：就労移行支援・就労継続支援 B型)	利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生産活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に提供するよう努めます。 生産活動に関しては、新規清掃事業を開始するとともに、活動内容の見直しを行い、增收を図りより多くの工賃を利用者に支給できるよう努めます。 当初予算額 86,460,000 円
気仙沼市みのりの園 (生活介護事業所)	障害者一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく自立した生活を送りながら、排泄及び食事の介護、生産活動の機会、その他の便宜を適切かつ効果的に提供するよう努めます。利用者の意思や個性を尊重し、障害特性に配慮しながら多

	<p>種多様な活動支援プログラムを実施します。また、地域での日常的な作業訓練の場を得ながら地域住民との交流やふれあいの中で、利用者が主体となり生活経験を重ね、自らの生活意欲を高めるとともに、地域生活の質の向上を図ります。高齢期における利用者の生活環境を整えながら、地域のニーズに応えます。</p> <p>当初予算額 54,516,000円</p>
気仙沼市マザーズホーム (多機能型事業所 :児童発達支援・放課後等デイサービス)	<p>気仙沼市及び隣接する市町村に居住する障害児及び保護者を対象に、児童発達支援及び放課後等デイサービスを適正に提供することで、日常生活の基本的動作や集団生活への適応力の向上を図り、併せて保護者の養育負担の軽減や精神的安定の向上に努めます。</p> <p>利用児の障害種類や年齢に対応する療育の充実に取り組むと共に、利用保護者との信頼関係を構築し、怪我や事故の無いように配慮し、サービスの向上に努めます。また、新規事業（保育所等訪問事業）に向けた基盤整備として、保育所・幼稚園等との交流を図りつつ、ニーズ等の把握に取り組みます。</p> <p>当初予算額 34,066,000円</p>
松峰園相談支援センター (指定特定相談支援事業所)	<p>利用者又は保護者の意思及び人格を尊重し、常に当該利用者等の立場に立ち、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう配慮し、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じ、利用者の選択に基づいた適切なサービスが提供されるよう努めます。併せて地域で必要な社会資源の開拓にも努めます。</p> <p>当初予算額 1,466,000円</p>
指定共同生活支援事業（介護サービス包括型）「つばさ」	<p>利用者が地域で自立した社会生活を営むことができるよう、当該利用者の心身の状況並びにその置かれている環境に応じ、共同生活住居において相談、食事その他の日常生活の援助を適切かつ効果的に提供するよう努めます。</p> <p>当初予算額 6,274,000円</p>
気仙沼市ホームヘルプサービス事業所	<p>障害を持った方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、心身の特性を踏まえたきめ細やかな居宅介護計画によるサービス提供に努めます。また、有用な研修受講等により、専門知識の習得の機会を設け、従業者の資質を向上させます。</p> <p>従業者の人材確保に鋭意努力し、事業所の安定経営に努めます。</p> <p>当初予算額 2,000,000円</p>
訪問介護ステーションからくわ	<p>利用者の持つ障害の特性に応じ、可能な限り住み慣れた地域でその人らしい暮らしを営むができるように、関係機関と綿密な連携を図り、総合的かつ効果的なサービス提供に努めます。また、職員研修に参加し、サービスの質の向上、事故防止と感染予防の徹底に取り組み、サービス提供体制を強化し安定経営に努めます。</p> <p>当初予算額（居宅介護）1,054,000円 （同行援護）152,000円</p>
ヘルペーステーションもとよし（居宅介	障害を持った方が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう、利用者一人ひとりの要望を丁寧に聞き取り真のニーズを見つけ出し、専門性が高い

護)	きめ細やかなサービスが提供できるよう努めます。また、サービス提供体制を強化し、関係機関との連携を密にしサービスへの理解が広がるよう啓発活動に取り組みます。当初予算額 9,695,000 円
----	--

(3) 地域生活支援事業

障害者総合支援法に基づき気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に則り、重度の障害を持つ方への移動入浴車による入浴サービスを提供します。

事業所名	内 容
訪問入浴サービスからくわ	利用者・家族の意向を尊重し丁寧に寄り添い、住み慣れた地域や在宅で自分らしく安心して生活できるよう良質で安心できるサービス提供し、家族の精神的、身体的負担の軽減を図ることに努めます。また、地域の医療・福祉機関との連携を大切にするとともに、事故防止と感染予防を徹底します。 当初予算額 1,000,000 円
訪問入浴サービスもとよし（身障）	利用者と家族が住み慣れた地域や在宅で自分らしく穏やかな気持ちで日々生活できるよう、その意向を尊重し、丁寧なケアを目指します。職員研修やケース検討を強化しサービスの質向上に努めます。 当初予算額 712,000 円

8. 在宅福祉事業

(1) 在宅福祉事業

誰もが安心して地域で暮らせるように、地域関係者の協力、連携の下で定期的な訪問等により、高齢者世帯等の介護予防を視点に置いた支援に努め、地域包括ケアシステム構築を進めます。

事業名	内 容
移送サービス事業	家庭外への移動困難な方の生活支援を目的に、依頼に基づきリフト付ワゴン車の貸出及びボランティアによる移送を行います。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 332,000 円
生活支援型食事サービス事業	栄養バランスのとれた食事の提供と安否確認を行うことで、利用者の生活上の負担軽減を図ると共に、利用者やその家族が安心できるよう関係者間で密に連絡調整を行いながら、安定したサービス提供を行います。 当初予算額 3,902,000 円
在宅ふれあい型交流事業	地域で暮らす高齢者等の孤立予防と高齢者同士又は地域住民との交流を通して、住民同士が支え合う心の醸成を図ります。 当初予算額 老人福祉活動事業 487,000 円
安否確認訪問サービス事業	虚弱な一人暮らしの世帯、虚弱な高齢者のみの世帯へ乳酸菌飲料の配達を通じた声掛け訪問による安否確認を行います。 当初予算額 125,000 円

介護機器貸出事業	<p>緊急を要する要介護世帯や福祉活動を行うボランティア団体等に福祉用具を貸し出し、在宅生活の支援、地域活動及び福祉教育活動の企画や参加を促進します。</p> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 15,000 円</p>
----------	--

(2) 老人福祉センターの指定管理

高齢者が健康で豊かな生活が送れるよう各種相談や地域の方々との支援等により、生きがいづくりや自立生活の援助に取り組みます。

センターネーム	内 容
気仙沼市老人福祉センター 福寿荘	<p>気仙沼市の条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上、老人クラブの活動及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与できる体制を充実させます。また、施設利用者にとって安全で居心地の良い環境となるよう施設の維持管理に努めます。</p> <p>介護予防普及活動としては、各集いの中で専門機関の協力を得ての学習会開催や、継続的に実施している介護予防事業も充実させ展開していきます。</p> <p>当初予算額 19,300,000 円</p>

(3) 指定介護保険事業

介護保険に関する法令等の趣旨に従い、介護を要する高齢者が可能な限り在宅での快適な生活が送れるよう、利用者の尊厳に基づいた適切なサービス提供に努めます。事業は、法制度の遵守と併せて地域福祉推進という本会の使命や公益性に根ざして実施し、さらには事業の採算性に留意するとともにサービスの質を左右する職員の資質向上に積極的に取り組み、効果的で効率的かつ安定した適正な介護保険事業経営に努めます。

①居宅介護支援事業

事業所名	内 容
一景島在宅介護支援センター	<p>要介護又は要支援状態になった場合においても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、利用者の立場に立ち一連のケアマネジメントプロセスに基づいた適正な居宅介護支援等の提供の充実強化を行います。また、主任介護支援専門員配置等による加算取得にあたっては、管理者と介護支援専門員との業務の相互チェック体制により、指定事業所として運営基準に則る適正な事業運営を図ります。</p> <p>当初予算額 18,087,000 円</p>
燐さん館ケアプランセンター	<p>適切なアセスメント及び課題分析を行うことで、しっかり利用者のニーズを捉え、可能な限り在宅生活において、その人らしい生活が送れるようなケアマネジメントを行います。また、多様な介護ニーズに対応できるように、多職種や地域包括支援センターとの連携の強化、インフォー</p>

	<p>マルサービスの開拓等に努めます。</p> <p>当初予算額 17,280,000 円</p>
津谷居宅介護支援事業所	<p>利用者の立場に立ち、介護保険事業と地域福祉推進事業の双方をつなげ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、生活全体を支える視点で自立支援に向けたケアマネジメント機能の強化と充実に努めます。事業所として運営基準等法令遵守の徹底に向けた管理機能を強化とともに、職員一人一人が信頼されるサービスを提供できるよう、更なる質の向上に努めます。また、支援困難ケースへの積極的な対応を行うなど地域に必要とされる事業所を目指して取り組みます。</p> <p>当初予算額 35,577,000 円</p>

②訪問介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市ホームヘルプサービス事業所	<p>要介護又は要支援にある利用者が住み慣れた地域や在宅で自分らしく安心して生活できるよう適正な訪問介護計画を策定し、利用者や家族からの定期的なモニタリングにより、よりきめ細やかなサービスを提供します。</p> <p>事業運営にあたっては、管理者のもとに業務の相互チェック体制を取り、常に指定基準等の法令遵守による業務を行います。</p> <p>なお、訪問介護員の人材確保に鋭意努力し、利用希望に応えうる人員体制整備と事業所の安定経営に努めます。</p> <p>当初予算額 15,954,000 円</p>
訪問介護ステーションからくわ	<p>利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう配慮して、身体介護、生活全般にわたる援助を行います。利用者の心身状況を把握し目標を策定し、計画的に行い常に利用者の立場に立った適切なサービス提供に努めます。また、関係機関と連携を密にし、家族の負担軽減を図り事故防止と感染予防対策を徹底します。積極的に研修等に参加し自己の向上に励み、効率的で効果的かつ円滑な経営に取り組んで参ります。</p> <p>当初予算額 18,495,000 円</p>
ヘルパーステーションもとよし	<p>住み慣れた地域や在宅での安心生活が継続できるよう、職員一人ひとりが日常的に知識と介護技術のスキルアップに努め、利用者や家族とのつながりを大切に、きめ細やかで質の高いサービス提供に努めます。継続的な課題である介護職員確保については、常に地域に目を向け福祉への理解を深めながら雇用につながる機会づくりを検討していきます。事業管理を徹底し効率的で効果的かつ安定したサービス提供に取り組み、在宅生活を支えていきます。</p> <p>当初予算額 41,570,000 円</p>

③訪問入浴介護事業

事業所名	内 容
訪問入浴サービスからくわ	<p>利用者・家族の意向を尊重し、地域の医療・福祉関係機関と連携して、利用者が満足する良質で安心できるサービスを提供致します。サービスの提供にあたっては、利用者、一人ひとりの心身の状態を踏まえて、質の高いサービスを提供し、家族の精神的、身体的負担の軽減を図ることに努めます。また、積極的に研修等に参加しサービスの質の向上に励み、事故防止と感染予防対策を徹底しながら、効率的で効果的かつ安定した適正な経営に取り組んで参ります。</p> <p>当初予算額 11,040,000 円</p>
訪問入浴サービスもとよし	<p>利用者と家族の意向を尊重し、穏やかな気持ちで住み慣れた在宅での生活が継続できるようなサービス提供を行います。特に、利用者の心身の状況、希望や環境を考慮し安心して気持ちよく入浴できるよう、そして、利用者が入浴時間を楽しみに思っていただけるよう、ケース検討や職員研修を強化し、サービスの質向上に取り組みます。利用者に丁寧に寄り添い満足度を高めながら、安全で良質なサービス提供を行い、効率的で効果的かつ安定経営に努めます。</p> <p>当初予算額 15,913,000 円</p>

④指定通所介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市燐さん館デイサービスセンター	<p>利用者の心身の状況、生活環境、本人及び家族の希望等を尊重して作成した介護計画書に基づき、利用者が有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう努め、家族の精神的、身体的負担を図ります。</p> <p>気仙沼地域の特性をつかんで良質なサービスを実施し増収と、経営基盤の安定確保を図ります。</p> <p>当初予算額 75,411,000 円</p>
気仙沼市福寿荘デイサービスセンター	<p>要介護状態の悪化防止や様々なニーズを持った利用者を受入れ、また、関係機関・団体との連携強化をより一層図りながら、介護を要する高齢者が可能な限り在宅で快適な生活が送れるよう適切な介護サービスを提供とともに、利用者の介護に当たる家族等の介護負担軽減を図ることに努めます。</p> <p>介護保険に関する各種法令等に従い、指定管理者としての使命及び社協としての地域福祉推進と公益性を意識した施設運営を行います。</p> <p>施設経営にあたっては、日々徹底的にコスト削減や節電等を職員一人ひとりが意識し、資質向上及び接遇マナー等の更なる向上に努め、通所する利用者の方により寄り沿ったサービス提供を実践することで、職員一丸となり採算確保できる施設運営及び経営を目指します。</p> <p>当初予算額 36,464,000 円</p>

やすらぎデイサービスセンター	<p>利用される方々の様々なニーズに対応し、利用者の生活の質の向上とその家族の介護負担を軽減し、可能な限り在宅での生活を継続していく様に、各種専門職向けの研修に参加し、職員の資質の向上・キャリアアップを図り、質の高いサービスを提供していきます。</p> <p>なお、地域で暮らす方が介護を必要とする時が来ても、習得した技術や知識が利用される方々に還元されることで、地域の方々に「安心して生活ができる」と思って頂けることを目標に、地域の方々や各関係機関・事業所との良好な関係を維持し、地域社会に根差した事業の運営を目指します。</p> <p>当初予算額 40,774,000 円</p>
大谷デイサービスセンター	<p>住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、利用者一人ひとりの心身の状態に配慮した安心安全なサービス提供と意欲や喜びを持ち生活できるような活動や機会の提供に努め、併せて家族の介護負担軽減が図られるよう取り組みます。さらに、職員の資質向上に向けて内部検討会や研修の機会を増やし、一人ひとりが施設経営を意識して業務にあたれるよう定期的に経営状況を示し、工夫や改善を重ね安定経営に努めます。また、地域住民との交流の機会づくりなど積極的に地域と繋がることで地域ニーズを把握し、社協の各種事業とも連携しながら、信頼関係を構築し、地域に必要とされる施設として付加価値を高めていきます。</p> <p>当初予算額 35,377,000 円</p>

⑤認知症対応型共同生活介護事業

事業所名	内 容
グループホーム 「桑の実」	<p>入居者が家庭的な雰囲気の中で、馴染みの人達と一緒に、安心して暮らせるよう共同生活をしながら、認知症状の進行の緩和を図るとともに、その人らしい生活を送れるよう努めます。また、入居者の人格を尊重し、入居者の立場に立ったより良いサービスを提供するために、職員研修の強化を図ります。事業運営については法令遵守を徹底し適正な運営に努めます。</p> <p>当初予算額 35,730,000 円</p>

⑥福祉用具貸与事業

事業所名	内 容
もとよし福祉用具貸与事業所	<p>安心して在宅生活が送れるよう、福祉用具の有効活用による自立支援と介護者の負担軽減による介護機能の充実強化に努めます。また、住宅改修などの関連環境分野の専門知識取得と併せ、多職種との連携強化に努めます。利用者との信頼関係を構築するため職員のコミュニケーション能力向上を図り</p>

	<p>ながら、専門的な知識と技術の習得に努め、新規利用者確保による安定経営を目指します。</p> <p>当初予算額 13,798,000 円</p>
--	--

9. 気仙沼市受託事業

気仙沼市との連携を密にし、さらなる受託事業の充実強化に努めます。

事業名	内 容
気仙沼地区応急仮設住宅入居者等サポートセンター運営事業	<p>応急仮設住宅等への入居が6年目を迎えます。災害公営住宅の入居にあたる手続きの支援や入居者交流会への参加呼びかけを行いながら、繋がりづくりの支援に努めます。また、これからも仮設住宅入居が続く方に対しては、安心し不安なく暮らしが継続できるように、住民同士や支援団体等の見守り・交流が維持できるよう支援していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズに合った集会場の開放と既存地域を交えたサロン開催を継続します。 ・拠点団地での新たなコミュニティづくりの支援を行います。 ・特定延長対象者に対しては、関係機関との連携・調整しながら支援を行います。 ・行政からの依頼による訪問活動や高校・大学等の実習事業にも協力します。 <p>当初予算額 30,120,000 円</p>
気仙沼市「絆」再生事業	<p>東日本大震災の被災者等の孤立化の予防と自立に向けて、安心した地域生活が送れるよう、きめ細やかな支援と地域住民による福祉コミュニティづくりを推進します。</p> <p>被災者への訪問活動と地域支援が連動した福祉コミュニティづくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応急仮設住宅、みなしふ設住宅、自立再建者等を訪問し、孤立化の防止や見守り、社会参加の支援、各種相談を関係機関に繋ぐなど問題の早期発見と課題解決に向けた支援を行います。 ・支援者間での連携と情報交換をより密に行うことにより、支援の取りこぼしや途絶えがないよう一体となった支援に努めます。 ・震災により住まいを移された方が、新しい地域に馴染み生活ができるよう繋ぎ役に努めます。また、行政等の関係機関をはじめ、地域団体等と連携を図りながら交流会開催や開催支援など、被災者間のみならず、地域住民が支え合える関係を構築する福祉コミュニティづくりを支援します。 ・地域の課題を把握し、行政や支援団体、地域住民等と一体となり課題解決に向けた取り組みに努めます。 ・被災者の状況や地域に合わせたが支援が適切に行えるよう、職員の資質向上を図ります。当初予算額 103,350,000 円

気仙沼市北部地域包括支援センター	<p>唐桑地域及び鹿折地区の地域組織や関係機関との連携基盤を強化し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が維持できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関として充実強化を図ります。</p> <p>「気仙沼市地域包括ケアシステム構築に向けたアクションプラン」に基づき、地域包括ケア構築に向けた取組みを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①認知症施策として、「認知症初期集中支援事業」「認知症サポーター養成講座」を実施し、又「認知症介護家族交流会」等に取組み、認知症の人と家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進して参ります。 ②ケア会議や研修会を通じて、地域の専門職や地域の関係者がお互いの特色を理解し連携できる関係づくりをして参ります。 ③生活支援体制整備事業として、市が設置する協議体の地域支え合い推進員や地域の関係者と連携して、高齢者の多様な生活ニーズの把握やサービスの創出の必要性について普及啓発を行います。 <p>当初予算額 27,978,000 円</p>
気仙沼市南部地域包括支援センター	<p>本吉地域の地域組織及び関係機関との連携をさらに進め、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が持続できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関としての充実強化を図り、地域包括ケア構築に向けた積極的な取り組みを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう「認知症専門チーム」と連携し認知症サポーター養成講座や認知症懇談会を積極的に実施します。 ② 利用者の目標が達成できるよう、総合事業サービスの利用方法を介護支援専門員と相談しながら作成し、住み慣れた地域で自立した生活の継続に向けた支援をします。 ③ 安心して暮らしていくために高齢者の尊厳と権利を守っていく取り組みを進めます。 ④ 市が設置する協議体や地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）と連携し、みんなで支え合う地域づくりに取り組みます。 <p>本吉地域として、気仙沼市立本吉病院等の医療機関や関係機関との連携強化や認知症について地域ぐるみでの支援ができるよう住民等への理解を深める取り組みを積極的に進めます。</p> <p>当初予算額 27,634,000 円</p>

高齢者実態把握事業	高齢者の生活状況を把握するため訪問調査を行い、日常生活のなかに隠れている様々な問題やニーズについて、地域包括支援センターと協力・連携しながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、様々な社会資源を活用し、課題解決に向けた支援をします。 当初予算額 津谷在宅介護支援センターの内 301,000 円
生きがい活動支援通所事業（元気老人デイサービス事業）	高齢者の社会的孤立感の解消や自立生活の助長及び要介護状態となることの予防を図るため、慣れ親しんだ地域の方々との交流を大切に趣味活動などの提供プログラムを充実させ、楽しく生きることを目標に支援を行います。 当初予算額 7,504,000 円
家族介護者交流事業	高齢者を介護している家族に対して、日帰り旅行を通じ介護者相互の交流を図り、介護者を介護から一時的に開放することにより、参加者の心身のリフレッシュを図ります。また、交流を通じて互いの介護に対する課題解決ができるよう支援します。年4回実施予定（気仙沼地域2回、本吉地域2回） 当初予算額 在宅介護者リフレッシュ事業 403,000 円 津谷在宅介護支援センター事業の内 159,000 円
介護者教室事業	高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室を通じて、要介護高齢者に関する知識を学ぶことにより、状態の維持・改善を図り、在宅生活の質の向上を図ります。年2回開催予定。 当初予算額 津谷在宅介護支援センター事業の内 54,000 円
外出支援サービス事業	リフト付車両及びストレッチャー装備ワゴン車等により、利用者の居宅と医療機関及び在宅福祉サービスを提供する場所等との移動を支援します。 当初予算額 232,000 円
大谷学童保育事業	各年齢発達段階に応じた児童の主体的な遊びを積極的に取り入れ、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立が図られるよう、職員の研修を積極的に行い質の向上を図ります。子供の成長には、家庭、学校のほか地域の協力が不可欠であることから、保護者や地域、各関係機関等との連携を深め、保育サービスの充実を図ります。さらに、地域住民や子育て関係者との交流の場をつくるなかで学童保育への関心を深め、「地域の子供は地域で育てる」という子育てに地域が関わることへの理解啓発に取り組みます。また、継続的な避難訓練など引き続きリスク管理を徹底し、地域全体で見守っていけるよう安心かつ安全な事業運営に心掛けて取り組みます。 当初予算額 8,427,000 円
気仙沼市西地区高齢者相談室運営事業	被災した高齢者等の災害公営住宅や防災集団移転先での生活再建や自立生活を援助すると共に、応急仮設住宅で暮らす高齢者の安心した生活を援助するため、計画的な巡回訪問による安否確認や見守り・声掛け・相談等を行います。また、住宅におけるコミュニティの催し物等へ参加勧奨等の援助により、高齢者等の閉じこもりや孤立の防止、近隣者が支えあえる関係性構築に努めます。併せて、介護や生活困窮等の予防や対処に必要なサービスを、

	<p>関係機関等に速やかにかつ的確に繋げるよう調整する地域の拠点機関としての充実強化を図ると共に、職員が適切に相談等に対応できるよう、研修や講義による資質向上を図ります。</p> <p>当初予算額 14,680,000 円</p>
--	---

10. 団体事務

各種団体の事業支援とともに、自主的に活動ができるよう体制整備を支援します。

事業名	内 容
気仙沼市民生委員児童委員協議会	行政担当課と連携しながら事務手続きを進め、各地区民児協運営の支援など民生委員児童委員活動の円滑な推進を図ります。 事務委託契約に基づき、適正な事務処理に努めます。
本吉プロック民生委員児童委員協議会連絡協議会	宮城県民児協との連携及び南三陸町民児協との相互交流や連携を図り、プロック内の民生委員児童委員活動の推進を図ります。 事務委託契約を締結し、適正な事務処理に努めます。
気仙沼市共同募金委員会	共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい募金）に対する住民の理解と協力を得ながら、募金活動を推進するとともに、適切な配分と援護活動に努めます。 事務委託契約に基づき、適正な事務処理に努めます。
気仙沼市ボランティア連絡会	気仙沼市内のボランティア団体間の情報共有と連携を図るとともに、地域活動の一層の充実のための知識と技術を得る研修等開催を支援し、ボランティア活動を推進します。
気仙沼市老人クラブ連合会	老人クラブ活動の活性を図り、老人クラブ連合会事務の適正な運営に努めます。単位老人クラブ及び地区老人クラブ連合会が、地区の実情に即し活発に活動ができるように支援し、高齢者の生きがいと活動の充実を図る事業を開発するように努めます。関係機関や関係団体との連携を強化し、女性リーダー、若手リーダーの育成と専門部活動の充実強化に努めます。
本吉町老人クラブ連合会	全国三大運動（心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動）の積極的な推進と併せ、関係機関や団体等との連携強化によるクラブ組織の基盤強化の推進、女性リーダーの育成と女性部活動の充実強化、全員参加型事業への見直しによる各種事業の活性化を重点目標とし、団体の適正な運営支援に努めます。
本吉町遺族会	気仙沼市遺族会との連携を密にし、英靈の顕彰と慰靈に関する事業、戦没者遺族の相互扶助、会員生活相談に関する事業など、団体の適正な運営支援に努めます。